

## 「幸せ人口1000万」

県民  
約102万人

+

関係人口  
1000万人

## ウェルビーイングと成長戦略② 「幸せ人口1000万」とは何だ？

富山県民＋関係人口が、幸せ人口。ウェルビーイング向上を通じて、富山県の仲間の輪を広げていきましょう。

いつまでも「県内人口100万人」という考え方に縛られてはもったいない。そうではなく、幸せという大きな傘のもと「関係人口1000万人」を目指しましょう。  
富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など愛着を持って関わるすべての人が、富山の仲間です。  
【成長戦略ビジョンより】

成長戦略のビジョンに掲げる「幸せ人口1000万」。

富山県で暮らす皆さんのウェルビーイング向上はもちろん、ウェルビーイングを感じられる本県に魅力を感じて、より多くの多様な人々が、つながる、集まる、交流や出入りが活性化すること（関係人口の増）を目指しています。

「関係人口」には、様々な定義があり、例えば、総務省のウェブサイトでは、「移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々」とされています。

本県では、こうした様々な考え方を参考にしつつ、成長戦略の推進に向け、独自に定義し、関係人口の拡大、関係性の深化に取り組むこととしています。



独自の関係人口の定義は、

- ・県外に在住し、
- ・地域貢献、ビジネス、情報発信などで本県と関わる方のうち、
- ・強い関係性を持つ方・・・関わりや行動に継続性がある方や、多くの選択肢がある中で、あえて富山県を選んでいる方と整理しているようですね。



どうやって数えるの？

統計などで調査したり、これから全国を対象にアンケート調査を行い推計していくみたい。

僕たちが住む富山県を好きになってくれる人がもっと増えてほしいね！

そうだね。富山県の幸せを、多くの人に「おすそわけ」して、仲間を増やしていこう！